
宮崎県埋蔵文化財センター年報

第7号

平成15
(2003)
年度

2003

序

本書は宮崎県埋蔵文化財センターの概要と平成14年度に実施した各種事業についてまとめたものです。

当センターでは国・公団・県等の実施する道路建設に伴う発掘調査、農業水利関係施設建設のほか各種施設の建設に伴う発掘調査をはじめ、出土品の展示公開や埋蔵文化財講座の開催など埋蔵文化財の保護と活用に積極的に取り組んでいるところであります。

発掘調査では平成12年度から東九州自動車道建設に伴う発掘調査を推進し、現在、新富町、高鍋町、川南町を中心に実施しております。主な発掘調査については現地説明会や調査報告会を開催し、県民の皆様は郷土の歴史についてさらに関心をもっていただけるよう工夫しながら事業を推進しているところであります。

当センターとしましても埋蔵文化財行政の十分な成果が得られるよう今後とも、より一層の努力をしてまいりたいと存じます。

関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成15年5月

宮崎県埋蔵文化財センター
所長 米良弘康

施設

(佐土原本館) 宮崎県佐土原町大字下那珂4019

構造：鉄筋コンクリート造・木造平屋一部2階

床面積：1,962.75㎡

本館	1,745.99㎡	付属建物	216.76㎡
事務室	57.76㎡	整理作業棟	216.76㎡
所長室	19.86㎡	調査研究室 (臨時増設)	301.57㎡
情報処理室	33.17㎡	職員室	247.06㎡
会議室	78.52㎡	更衣室	54.51㎡
休憩室	78.52㎡		
調査・研究室	248.55㎡		
復元整理室	293.44㎡		
一次処理室	96.81㎡		
図面整理室	61.62㎡		
写場	64.20㎡		
暗室	12.65㎡		
一次保管室 (2層)	188.00㎡		
図書室 (2層)	193.88㎡		
荷捌室	43.01㎡		
その他	276.00㎡		

(神宮分館) 宮崎市神宮2丁目4-4

構造：鉄筋コンクリート造2階

床面積：1,652.38㎡

分館1階	877.58㎡	分館2階	774.80㎡
一次処理室	121.20㎡	写場・暗室	49.30㎡
復元整理室	148.30㎡	写真保管室	35.10㎡
保存処理室	49.30㎡	図面保管室	53.10㎡
鉄器	26.60㎡	収蔵整理室	19.30㎡
木器	22.70㎡	収蔵室	564.00㎡
研修室	143.20㎡	特別収蔵室	54.00㎡
事務室	41.80㎡		
展示室	150.00㎡		
器材庫	11.00㎡		
エントランスホール他	212.78㎡		

II 埋蔵文化財センターの沿革

西暦	年月日	事 項
1980 1981 1982	昭和55年 56 57.1.9 7.29 10.2	「埋蔵文化財調査センター建設計画」立案 基本設計を実施 起工式 竣工 宮崎県総合博物館埋蔵文化財センターとして宮崎市神宮2丁目4-4に設置。 センター長吉田敏明(兼博物館副館長)以下本務職員2名(岩永哲夫、谷口武範)、兼務職員8名、嘱託2名発令。出土品等の整理保管と教育普及活動を行う。 開館記念講演「日本文化のふるさとをたずねて、東南アジアの旅から」(講師:国立民族学博物館教授佐々木高明)。
1983	58.4.1	センター長細川達雄発令。本務職員を3名(茂山護、岩永哲夫、谷口武範)に増員する。
1984	59.4.1	茂山転出、菅付和樹転入)
1985	60.11.2	文化財保護協調週間の行事として施設公開を初めて行う。
1986	61.4.1 61.7	センター長久徳菊雄発令。兼務職員7名になる。 毎月第4土曜日の映写会「遺跡をたずねて」を始める。
1987	62.3 62.4	埋蔵文化財調査研究報告第1集「陣内第2遺跡、蓮ヶ池横穴墓群—遺物編」刊行。 埋蔵文化財講座を始める。
1988	63.3 63.4.1	埋蔵文化財調査研究報告第2集「下那珂貝塚」刊行。 センター長長友巖発令。本務職員1名(菅付和樹)、兼務職員9名となる。
1989	平成1.4.1	センター長石井祥博発令。本務職員1名(永友良典)、兼務職員11名となる。
1990	2.3 4.1	埋蔵文化財調査研究報告第3集「下北方古墳—遺物編」刊行。 兼務職員が13名となる。
1991	3.3 4.1	埋蔵文化財調査研究報告第4集「下弓田遺跡—資料編1」刊行。 センター長木幡文夫発令。 設備充実の一環として、軟X線撮影装置等を導入する。
1992	4.4.1	センター長藤崎景二発令。 埋蔵文化財センター開設10周年記念企画展「宮崎の埋文情報展'82-'91」を開催する。 脱塩装置・赤外線 TVカメラシステム等を導入する。
1993	5.4.1 9.15	センター長後藤健志発令。本務職員1名(長津宗重)、兼務職員15名となる。 空調設備増設。
1994	6.3.8	特別収蔵庫設置
1995	7.1.29 2.16 4.1	一般収蔵庫増設工事完成。 屋根防水工事完了。 センター長関屋清志発令。本務職員1名(長津宗重)、兼務職員24名となる。 県文化課埋蔵文化財第二係(調査部門)を埋蔵文化財センターに置く。
1996	8.4.1	宮崎県埋蔵文化財センターとして総合博物館から分離独立し、庶務係、調査第1係、第2係、教育普及係(第2係兼務)を置く。 所長藤本健一以下職員37名、嘱託1名発令。 鶴島分室(旧婦人相談所:宮崎市鶴島2丁目11-25)を設置し、調査第1係(東九州自動車道担当)を置く。
1997	9.3.17	分室を国富(旧国富農業改良普及センター:国富町大字本庄4777-2)に移転する。
1998	10.4.1	所長田中守発令。職員39名、嘱託8名になる。
2000	12.2.15 4.1 9.30	佐土原町に新館が完成し、国富分室を統合廃止する。神宮の旧本館を分館とする。 所長矢野剛発令。課制となり、総務課、調査第一課、調査第二課、普及資料課を置く。 職員52名、非常勤職員12名となる。 分館(研修室、事務室、図面保管室、写真保管室)改築工事完成。
2001	13.4.1	職員59名、非常勤職員16名となる。
2002	14.4.1	所長米良弘康発令。職員63名、非常勤職員17名となる。
2003	15.4.1	職員64名、非常勤職員15名となる。

Ⅲ 平成14年度の活動状況

埋蔵文化財センターは次に掲げる業務を行っている。

- 1 埋蔵文化財の調査研究
- 2 出土品その他の資料の保存及び活用
- 3 埋蔵文化財の調査研究に係わる図書その他の資料の整備
- 4 埋蔵文化財関係者の専門的・技術的な研修及び指導
- 5 埋蔵文化財保護思想の普及及び啓発

平成14年度は以下の事業を実施した。

1 埋蔵文化財緊急調査

(1) 発掘調査

東九州自動車道や国道をはじめ、国、県施設の建設に伴う分布調査や確認調査、発掘調査を実施している。平成14年度は山口遺跡（延岡市）、前ノ田村上第一遺跡（川南町）、小並第1遺跡（高鍋町）、横市中原遺跡（都城市）など45遺跡の発掘調査と東九州自動車道建設関連の13遺跡の確認調査を実施した。

①発掘調査一覧

番号	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
1	銀座第1遺跡 一次調査	川南町 大字川南	弥生 中世 近世	溝状遺構9 掘立柱建物4	弥生土器 土師器、青磁 陶磁器、銅銭	H14.7.8 ～ H14.10.31	2,800 ㎡	永山 博一 祐志	東九州 自動車道 建設
2	銀座第1遺跡 二次調査	川南町 大字川南	中世 近世	溝状遺構4 道状遺構3 掘立柱建物6	土師器 陶磁器 銅銭	H14.11.1 ～ H15.3.31	2,140 ㎡	永山 博一 祐志	東九州 自動車道 建設
3	銀座第1遺跡 三次調査	川南町 大字川南	縄文早期 弥生後期 中・近世	集石遺構8 自然流路2 溝状遺構9	石鏃、剥片、 弥生土器、陶 磁器	H14.12.10 ～ H15.3.5	4,900 ㎡	鶴戸 周成 小宇都 あずさ 金丸 史絵	東九州 自動車道 建設
4	銀座第2遺跡	川南町 大字川南	旧石器 縄文早期 近世	礫群3 土坑21 掘立柱建物2	ナイフ形石器 石鏃、土器 陶磁器、銅銭	H14.7.8 ～ H15.3.28	7,500 ㎡	永田 和久 山田 洋一郎 成相 景子	東九州 自動車道 建設
5	銀座第3 A遺跡	川南町 大字川南	旧石器 縄文早期	散礫	スクレイパー 押型文土器	H14.6.17 ～ H14.7.31	300 ㎡	草薙 良雄 山田 洋一郎	東九州 自動車道 建設
6	前ノ田村 上第1遺跡 一次調査	川南町 大字川南	弥生後期 中世	竪穴住居1 掘立柱建物27 溝状遺構31 土坑37	石包丁 青磁、陶磁器 銅銭	H14.4.4 ～ H14.10.11	6,100 ㎡	渡部 誠一郎 河野 康男 日高 敬子	東九州 自動車道 建設
7	前ノ田村 上第1遺跡 二次調査	川南町 大字川南	旧石器 縄文後期 中・近世	溝状遺構16 道状遺構3	剥片 石鏃・土器 陶磁器	H14.12.12 ～ H15.5.9	4,900 ㎡	河野 康男 渡部 誠一郎 山下 健一	東九州 自動車道 建設

番号	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
8	湯牟田遺跡	川南町 大字川南	旧石器 縄文早期 古代以降	礫群1 道状遺構10	角錐状石器、 ナイフ形石器 石鏃、土師器	H14.4.3 ～ H14.7.31	3,700 ㎡	都成 量 山下 健一 金丸 史絵	東九州 自動車道 建設
9	青木遺跡	高鍋町 大字上江	縄文早期 中世	集石遺構1 掘立柱建物3 墓1	押型文土器、 土師器、青磁 銅銭	H14.5.1 ～ H14.7.18	650 ㎡	吉本 正典	東九州 自動車道 建設
10	野首第1 遺跡 一次調査	高鍋町 大字上江	縄文早期 古墳後期 近世	集石遺構1 竪穴住居1 屋敷跡1 墓1	押型文土器 須恵器、土師 器、陶磁器	H14.4.8 ～ H14.10.31	1,600 ㎡	堀田 孝博 安楽 哲史	東九州 自動車道 建設
11	野首第1 遺跡 二次調査	高鍋町 大字上江	縄文早期 古墳後期 中世・近世	集石遺構13 土坑34	押型文土器 土師器、須恵 器、陶磁器	H14.11.6 ～ H15.3.31	10,600 ㎡	堀田 孝博 安楽 哲史 松元 一浩	東九州 自動車道 建設
12	野首第2 遺跡	高鍋町 大字上江	旧石器 縄文早期 縄文後晩期 古墳中期 古代	礫群120 集石遺構100 炉穴100 竪穴住居30 竪穴住居33 掘立柱建物5	ナイフ形石器 押型文土器 条痕文土器 ヒスイ製垂飾 須恵器、土師器 陶磁器	H14.4.3 ～ H15.3.31	8,650 ㎡	松本 茂 尾園 賢二 落合 賢一 川畑 真二	東九州 自動車道 建設
13	老瀬坂上 遺跡	高鍋町 大字上江	旧石器 縄文早期 古代	礫群7 集石遺構38 火葬墓1	角錐状石器、 押型文土器、 蔵骨器、須恵器	H14.4.3 ～ H14.12.9	6,600 ㎡	阿部 直人 吉富 俊文	東九州 自動車道 建設
14	下耳切 第3遺跡 二次調査	高鍋町 大字上江	旧石器 縄文早期	集石遺構31	細石刃、細石 刃核、押型文 土器、石鏃 貝殻条痕文土器	H14.5.23 ～ H14.8.29	6,800 ㎡	今塩屋 毅行 松尾 有年	東九州 自動車道 建設
15	唐木戸 第1遺跡	高鍋町 大字上江	旧石器 縄文早期	散礫 陥穴3	ナイフ形石器 石鏃、剥片	H14.5.7 ～ H14.8.29	2,000 ㎡	横田 通久 可児 直典	東九州 自動車道 建設
16	唐木戸 第2遺跡	高鍋町 大字上江	旧石器 縄文早期 弥生中世	陥穴2 掘立柱建物5	剥片 石鏃、弥生土 器、土師器	H14.9.2 ～ H15.3.7	4,200 ㎡	吉富 俊文 草薙 良雄 加藤 学	東九州 自動車道 建設
17	唐木戸 第3遺跡	高鍋町 大字上江	旧石器 縄文早期	礫群4 集石遺構5 陥穴1	角錐状石器、 条痕文土器、 石鏃	H14.4.3 ～ H14.7.30	1,225 ㎡	鶴戸 周成 山口 昇	東九州 自動車道 建設
18	小並第1 遺跡	高鍋町 大字上江	旧石器 縄文早期	礫群22 炉穴7	角錐状石器、 ナイフ形石器 条痕文土器 細石刃、核	H14.4.3 ～ H14.12.25	7,700 ㎡	栗山 正明 長友 久昭 都成 量	東九州 自動車道 建設

番号	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
19	牧内第1遺跡 三次調査	高鍋町 大字上江	旧石器 縄文早期	礫群13 土坑33	角錐状石器、 ナイフ形石器 石鏃	H14.4.3 ～ H14.11.29	3,100 ㎡	松田 清孝 松元 一浩	東九州 自動車道 建設
20	牧内第1遺跡 四次調査	高鍋町 大字上江	旧石器 縄文早期	礫群6、ピット群、土坑群	角錐状石器、 ナイフ形石器 石鏃	H14.9.9 ～ H15.3.31	1,900 ㎡	原田 茂樹 戌亥 浩志	東九州 自動車道 建設
21	音明寺 第2遺跡 二次調査	新富町 大字新田	旧石器 縄文早期 古代以降	礫群4 陥穴1、 炉穴3、 道状遺構19	ナイフ形石器 角錐状石器 押型文土器 土師器	H14.5.16 ～ H14.12.26	5,700 ㎡	山下 健一 福松 東一	東九州 自動車道 建設
22	東畦原 第1遺跡 一次調査	新富町 大字新田	旧石器 縄文早期	礫群16 集石遺構1	角錐状石器、 細石刃、 石鏃	H14.4.1 ～ H14.9.30	5,800 ㎡	大山 博志 外山 宏幸	東九州 自動車道 建設
23	東畦原 第1遺跡 二次調査	新富町 大字新田	旧石器 縄文早期	礫群15 陥穴1	角錐状石器、 ナイフ形石器 細石刃	H14.5.20 ～ H14.12.26	2,200 ㎡	永野 高行 戸高 幸作	東九州 自動車道 建設
24	東畦原 第1遺跡 三次調査	新富町 大字新田	旧石器 縄文早期	礫群5 集石遺構1	角錐状石器、 細石刃、 石鏃、土器	H14.11.11 ～ H15.3.31	3,800 ㎡	大山 博志 外山 宏幸	東九州 自動車道 建設
25	東畦原 第2遺跡 一次調査	新富町 大字新田	旧石器 縄文早期	礫群10 土坑6	ナイフ形石器 剥片、石鏃、 土器	H14.4.3 ～ H14.8.9	4,000 ㎡	倉蘭 靖浩 安藤 真二	東九州 自動車道 建設
26	東畦原 第2遺跡 二次調査	新富町 大字新田	旧石器 縄文早期	礫群19 陥穴1	ナイフ形石器 角錐状石器	H14.9.25 ～ H15.2.14	3,100 ㎡	倉蘭 靖浩 可児 直典	東九州 自動車道 建設
27	西畦原 第1遺跡 二次調査	新富町 大字新田	弥生終末～ 古墳前期 古代	竪穴住居3 土坑10 道状遺構1	弥生土器 石包丁、鉄器	H14.5.17 ～ H14.9.30	7,550 ㎡	南中道 隆 加藤 学	東九州 自動車道 建設
28	西畦原 第2遺跡 二次調査	新富町 大字新田	旧石器 縄文早期	散礫 陥穴3	スクレイパー 角錐状石器 石核 石鏃	H14.9.24 ～ H14.12.26	760 ㎡	安藤 真二 横田 通久	東九州 自動車道 建設
29	西畦原 第2遺跡 三次調査	新富町 大字新田	旧石器	土坑	ナイフ形石器	H15.1.27 ～ H15.3.31	3,700 ㎡	安藤 真二 栗山 正明	東九州 自動車道 建設
30	上新開 遺跡	新富町 大字新田	旧石器 縄文早期	礫群1 集石遺構2・ 炉穴5	ナイフ形石器 剥片尖頭器 押型文土器	H14.11.19 ～ H15.3.31	4,200 ㎡	小山 博 都成 量 松尾 有年	東九州 自動車道 建設

番号	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
31	勘大寺遺跡	新富町 大字新田	旧石器 縄文早期	礫群15土坑4 集石遺構1 陥穴2	角錐状石器 石鏃	H14.9.9 ～ H15.2.28	2,500 ㎡	長友 久昭 山口 昇	東九州 自動車道 建設
32	尾小原遺跡	新富町 大字新田	旧石器 縄文早期	礫群1 陥穴1	石核、剥片	H14.4.3 ～ H14.8.30	5,500 ㎡	新町 芳伸 原田 茂樹	東九州 自動車道 建設
33	向原第1遺跡	新富町 大字新田	旧石器 縄文早期 弥生中期～ 古墳初頭	礫群2 集石遺構19 炉穴10、陥穴1 竪穴住居6 土坑13	ナイフ形石器 条痕文土器 石鏃 弥生土器、磨 製石鏃、鉄鏃	H14.4.3 ～ H14.8.10	2,700 ㎡	戌亥 浩志 日高 敬子	東九州 自動車道 建設
34	藤山第1遺跡	新富町 大字新田	縄文早期 縄文後期 古墳	集石遺構1	縄文土器 石錘 須恵器	H14.6.3 ～ H14.7.18	500 ㎡	小山 博 小宇都 あずさ	東九州 自動車道 建設
35	山口遺跡	延岡市 小川町	古墳	竪穴住居30 土坑6	弥生土器 土師器、須恵 器、石包丁	H14.4.30 ～ H14.7.26	1,400 ㎡	玉利 勇二 重留 康宏	北方延岡 道路建設
36	山口遺跡 二次調査	延岡市 小川町	古墳	竪穴住居7	敲石、土師器 勾玉、須恵器 管玉、鉄器80	H14.9.24 ～ H14.11.12	1,400 ㎡	玉利 勇二 日高 広人	北方延岡 道路建設
37	山田遺跡	延岡市 小川町	縄文早期 弥生 古墳 中世	集石遺構24 散礫、陥穴1、 炉穴、竪穴住居 1、周溝墓2、掘 立柱建物、溝状 遺構	石鏃、石槍 押型文土器 弥生土器 陶磁器	H14.9.25 ～ H15.3.27	2,700 ㎡	赤崎 広志 裕三	北方延岡 道路建設
38	吉野遺跡	延岡市 天下町	縄文早期	集石遺構35	無文土器、押 型文土器、石 鏃、剥片、石核	H14.6.11 ～ H14.8.13	3,000 ㎡	赤崎 広志 裕三 橋本 英俊	一般国道 10号延岡 道路建設
39	中山遺跡	日向市 大字塩見 字上ノ坊	中世～近世	近世墓24、 ピット約100、 井戸1	貿易陶磁器 六銅銭、煙管 鉄釘、近世陶磁	H14.7.22 ～ H14.10.18	1,500 ㎡	柳田 晴子 丹 俊詞	国道327 号県単改 良工事
40	竹淵C 遺跡	新富町 大字新田 字竹淵	縄文早期 古墳～近世	集石遺構4、 竪穴住居32 掘立柱建物10 ピット約1200 石組土坑2 溝状遺構1 石積遺構1 竪穴状遺構1	縄文土器 石器、土師器 須恵器、鉄器 陶磁器、石塔	H14.5.21 ～ H14.10.18	1,280 ㎡	杉田 康之 黒木 修 古屋 美樹	一ツ瀬川 河川改良 工事

番号	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
41	上ノ原第1遺跡二次調査	宮崎市山崎町	古墳	周溝2 土壙墓3 馬埋葬土坑2	須恵器、土師器、轡、鏡板付轡、雲珠、鉸具、杏葉7、辻金具14、鉄刀、刀子2、鉄斧	H14.4.15 ～ H14.5.24	607 ㎡	南正覚 雅士 丹 俊詞	宮崎島之内線ふるさと県道整備
42	上ノ原第1遺跡三次調査	宮崎市山崎町	古墳 古代	竪穴住居9 土坑4	土師器、須恵器、埋甕5 石製紡錘車 耳環、馬の歯 ガラス小玉	H14.11.27 ～ H15.2.5	620 ㎡	柳田 晴子 丹 俊詞 黒木 修	宮崎島之内線ふるさと県道整備
43	高野原遺跡	高岡町 大字高浜	旧石器 縄文早期	礫群3 ブロック 集石遺構14 陥穴状遺構3 散礫	ナイフ形石器 スクレイパー 石核、剥片 押型文土器、 塞ノ神式土器 無文土器石鏃	H14.12.24 ～ H15.3.28	1,350 ㎡	日高 広人 丹 俊詞	高浜ファームポンド建設
44	横市中原遺跡	都城市 横市町	縄文晩期 弥生前期 中世	土坑18 竪穴住居6 溝状遺構 小溝状遺構	黒川式土器、 刻目突帯文土器、石包丁、 砥石、土師器	H14.11.13 ～ H15.3.18	4,400 ㎡	久保 春夫 重留 康宏 古屋 美樹 黒木 修	農用地総合整備事業農業用道路建設
45	堀川運河三・四次調査	日南市 春日町	近代	運河護岸石積	なし	H14.4.25 ～ H14.11.20	155 ㎡	田中 光 甲斐 貴充	堀川運河港湾環境整備

②確認調査一覧

番号	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
1	銀座第1遺跡	川南町 大字川南	縄文～古墳 中・近世	柱穴 溝状遺構	青磁・陶磁器	H14.5.2 ～ H14.5.29	788 ㎡	永山 博一 祐志	東九州 自動車道 建設
			縄文・古代 ・中世	柱穴 溝状遺構	石鏃、須恵器 陶磁器	H14.10.21 ～ H14.11.6	856 ㎡	鶴戸 周成 小宇都 あずさ	
2	銀座第2遺跡	川南町 大字川南	旧石器 縄文～古墳、 近世	掘立柱建物	剥片 青磁、陶磁器 寛永通宝	H14.5.2 ～ H14.5.30	441 ㎡	永田 和久 山田 洋一郎 成相 景子	東九州 自動車道 建設
3	銀座第3A遺跡	川南町 大字川南	縄文早期 弥生～ 古代	なし	押型文土器	H14.5.2 ～ H14.5.7	106 ㎡	草薙 良雄 山田 洋一郎	東九州 自動車道 建設

番号	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
4	前ノ田 村上第1 遺跡	高鍋町 大字上江	旧石器 縄文後期 中・近世	溝状遺構 柱穴	ナイフ形石器 剥片、土器	H14.10.15 ～ H14.10.30	500 ㎡	河野 康男 渡部 誠一郎	東九州 自動車道 建設
5	野首第1 遺跡	高鍋町 大字上江	旧石器 縄文 古墳	柱穴	石器、縄文土 器、須恵器、 土師器、陶磁 器	H14.6.10 ～ H14.10.11	530 ㎡	堀田 孝博 安楽 哲史	東九州 自動車道 建設
6	唐木戸第 1遺跡	高鍋町 大字上江	旧石器 縄文 中世	柱穴 土坑	細石刃、細石 刃核、土器 青磁	H15.2.3 ～ H15.2.24	400 ㎡	横田 通久 阿部 直人	東九州 自動車道 建設
7	牧内第1 遺跡	新富町 大字新田	旧石器	なし	角錐状石器、 石核	H14.4.8 ～ H14.4.30	222 ㎡	松田 清孝 松元 一浩	東九州 自動車道 建設
8	東畦原 第1遺跡	新富町 大字新田	旧石器 縄文 中世	なし	角錐状石器 石鏃	H15.3.3 ～ H15.3.28	390 ㎡	栗山 正明 金丸 史絵	東九州 自動車道 建設
9	上新開 遺跡	新富町 大字新田	旧石器	土坑 礫群	礫・剥片	H15.2.4 ～ H15.2.18	390 ㎡	永野 高行 都成 量	東九州 自動車道 建設
10	一丁田 遺跡	新富町 大字新田	中世	なし	土師器	H14.9.3 ～ H14.9.25	190 ㎡	鶴戸 周成 松尾 有年	東九州 自動車道 建設
11	永牟田 第2遺跡	新富町 大字新田	旧石器 縄文早期	なし	礫 縄文土器	H14.12.3 ～ H14.12.13	60 ㎡	南中道 隆 金丸 史絵	東九州 自動車道 建設
12	尾小原 遺跡	新富町 大字新田	旧石器 縄文早期	ピット	剥片 石鏃 弥生土器	H15.3.10 ～ H15.3.28	48 ㎡	加藤 学 阿部 直人	東九州 自動車道 建設
13	向原第2 遺跡	新富町 大字新田	旧石器 縄文早期	なし	剥片 石鏃	H14.12.13 ～ H14.12.23	25 ㎡	南中道 隆 金丸 史絵	東九州 自動車道 建設

(2) 発掘調査に伴う調査指導及び職員の資料調査

慎重な調査を要する遺跡の調査にあたって、調査方法等の指導を受けるため各分野の専門の研究者を招聘した。また、時代のはっきりしない遺物や考古学以外の分析を必要とする遺物について職員を派遣し指導を受けた。

①調査指導

所属・氏名	指導内容	場 所	日 程
文化庁記念物課 調査官 瀬川 佳男	東九州自動車道関連調査指導 (弥生)	埋蔵文化財センター 小並第1遺跡 前ノ田村上第1遺跡	H14.10.15～ H14.10.16
熊本大学文学部 助教授 小畑 弘己	東九州自動車道関連調査指導 (旧石器)	埋蔵文化財センター 小並第1遺跡 前ノ田村上第1遺跡	H14.10.15～ H14.10.16
		埋蔵文化財センター 東畦原第1遺跡 牧内第1遺跡 銀座第1遺跡 野首第2遺跡	H15.3.24～ H15.3.25
奈良大学文学部 教授 泉 拓良	東九州自動車道関連調査指導 (縄文)	埋蔵文化財センター 前ノ田村上第1遺跡 小並第1遺跡 野首第2遺跡	H14.10.16
鹿児島大学法文学部 助教授 本田 道輝	東九州自動車道関連調査指導 (縄文)	埋蔵文化財センター 小並第1遺跡 前ノ田村上第1遺跡	H14.10.15～ H14.10.16
		埋蔵文化財センター 牧内第1遺跡・銀座第1遺跡 野首第2遺跡	H15.3.23～ H15.3.24
愛媛大学文学部 教授 田崎 博之	東九州自動車道関連調査指導 (弥生)	埋蔵文化財センター 小並第1遺跡 前ノ田村上第1遺跡	H14.10.14～ H14.10.16
		埋蔵文化財センター 銀座第1遺跡・東畦原第1遺跡 野首第2遺跡	H15.3.16～ H15.3.18
宮崎大学文教育文化学部 教授 柳沢 一男	東九州自動車道関連調査指導 (古墳)	埋蔵文化財センター 小並第1遺跡 前ノ田村上第1遺跡	H14.10.15～ H14.10.16
		埋蔵文化財センター 銀座第1遺跡・野首第2遺跡	H15.3.25
奈良女子大学文学部 教授 広瀬 和雄	東九州自動車道関連調査指導 (弥生～古代)	埋蔵文化財センター 小並第1遺跡 前ノ田村上第1遺跡	H14.10.15～ H14.10.16
		埋蔵文化財センター 東畦原第1遺跡 野首第2遺跡	H15.3.17～ H15.3.18
長崎大学教育学部 助教授 長岡 信治	東九州自動車道関連調査指導 (地質)	埋蔵文化財センター 牧内第1遺跡(第三次)東畦原 第1遺跡・小並第1遺跡・銀 座第1遺跡・銀座第2遺跡	H14.11.5～ H14.11.6

所属・氏名	指導内容	場 所	日 程
文化庁記念物課 調査官 加藤 真二	東九州自動車道関連調査指導 (旧石器)	埋蔵文化財センター 銀座第1遺跡 野首第2遺跡	H15.3.24～ H15.3.25
熊本大学文学部 教授 木下 尚子	東九州自動車道関連調査指導 (装飾品)	埋蔵文化財センター 野首第2遺跡 埋蔵文化財センター神宮分館	H15.3.26～ H15.3.27

②資料調査等

目 的	出張先	日 程	出張者
東九州自動車道関連発掘調査に伴う資料調査 (古墳住居・埋甕) 下耳切第3遺跡	鹿児島大学構内遺跡	H14.6.5	今塩屋毅行
宮崎島之内線ふるさと県道整備発掘調査に伴う資料調査(金属製品)上ノ原第1遺跡(第二次)	奈良文化財研究所埋蔵文化財センター保存修復科学研究室	H14.9.6	南正覚雅士 丹 俊詞
		H15.1.16	南正覚雅士
東九州自動車道関連発掘調査に伴う資料調査(蔵骨器・人骨調査)老瀬坂上・野首第1遺跡	土井ヶ浜遺跡人類学ミュージアム	H15.1.16～ H15.1.17	阿部 直人 安楽 哲史
東九州自動車道関連発掘調査に伴う資料調査前ノ田村上第1遺跡	福岡市埋蔵文化財センター 太宰府市教育委員会 九州陶磁文化館	H15.1.22～ H15.1.24	河野 康男 堀田 孝博
東九州自動車道関連発掘調査に伴う資料調査(マニュアル関係)	鹿児島県立埋蔵文化財センター 鹿児島市	H15.1.23～ H15.1.24	今塩屋毅行
東九州自動車道関連発掘調査に伴う資料調査(マニュアル関係)	北海道埋蔵文化財センター 札幌市埋蔵文化財センター	H15.1.28～ H15.1.31	谷口 武範 藤木 聡
東九州自動車道関連発掘調査に伴う資料調査(マニュアル関係)	愛知県埋蔵文化財センター 愛知県陶磁資料館	H15.1.29～ H15.1.30	吉本 正典 松本 茂
東九州自動車道関連発掘調査に伴う資料調査(マニュアル関係)	東京都埋蔵文化財センター 埼玉県埋蔵文化財センター	H15.2. 3～ H15.2. 5	児玉 章則 長津 宗重

(3) 出土遺物等整理及び発掘調査報告書の刊行

埋蔵文化財センターでは、発掘調査で出土した遺物等の水洗、注記から実測、製図までの整理を行い、発掘調査報告書を作成している。平成14年度に整理・報告書作成を実施した遺跡は48遺跡で、内訳は東九州自動車道関係及び青島バイパス等国、公団からの受託事業が32遺跡、県土木部関係10遺跡、県農政水産部関係4遺跡、県警察本部関係1遺跡、県教育委員会関係1遺跡である。そのうち整理作業を終了した18遺跡については発掘調査報告書を刊行し、東九州自動車道建設(都農～西都間)関連の24遺跡については概要報告書を刊行した。

①出土遺物等整理作業実施遺跡一覧

遺跡名	本館整理分：銀座第3A遺跡、湯牟田遺跡、北牛牧第5遺跡、唐木戸第1遺跡、唐木戸第3遺跡、唐木戸第4遺跡、唐木戸第5遺跡、下耳切第3遺跡、牧内第2遺跡、青木遺跡、音明寺第1遺跡、音明寺第2遺跡、音明寺第2遺跡（二次）、東畦原第3遺跡、西畦原第1遺跡、西畦原第2遺跡、西畦原第2遺跡D区、藤山第1遺跡、尾小原遺跡、向原第1遺跡、前ノ田村上第1遺跡、野首第2遺跡、老瀬坂上遺跡、小並第1遺跡、牧内第1遺跡（三次）、牧内第1遺跡（四次） 現場事務所整理分：音明寺第2遺跡、東畦原第1遺跡、東畦原第1遺跡（二次）、東畦原第2遺跡（一次・二次）、勘大寺遺跡
事業名	東九州自動車道（都農～西都間）建設
事業者	日本道路公団九州支社

遺跡名	事業名	事業者
林遺跡	一般国道10号延岡道路建設	国土交通省延岡工事事務所
屋敷遺跡	一般国道10号線花見バイパス建設	国土交通省宮崎工事事務所
大岩田上村遺跡	農用地総合整備事業「都城地区」農業用道路建設	緑資源公団九州支社都城建設事務所
西都原古墳群	特別史跡西都原古墳群保存整備事業	宮崎県教育庁文化課
下那珂遺跡	県総合農業試験場造成工事	宮崎県農政水産部農政企画課
祇園原遺跡・春日地区遺跡第2地点	県道木城西都線1時間構想道路整備事業（春日工区）	宮崎県土木部高鍋土木事務所
上ノ原第1遺跡（1・2次）	主要地方道宮崎島之内線ふるさと県道整備事業	宮崎県土木部宮崎土木事務所
五ヶ村遺跡・大野原遺跡	広域営農団地農道整備事業 西臼杵3期地区	宮崎県総務部西臼杵支庁農政水産課
大郎遺跡・教塚遺跡 マンバル城跡遺跡	一般国道325号国道改築事業（田原バイパス）	宮崎県総務部西臼杵支庁土木課
桑ノ木遺跡	串間警察署郡元職員宿舍新設工事	警察共済組合宮崎県支部
瀬戸前1号横穴墓・瓜生野村古墳30号横穴墓	主要地方道宮崎西環状線道路改築事業	宮崎県土木部宮崎土木事務所
池島遺跡	県営早水団地建替事業	宮崎県土木部建築住宅課
右葛ヶ迫遺跡	一般国道220号青島～日南改良	国土交通省九州地方整備局宮崎工事事務所
豊満大谷遺跡・野添遺跡	農用地総合整備事業「都城地区」農業用道路建設	緑資源公団九州支社都城建設事務所

遺 跡 名	事 業 名	事 業 者
笹の都遺跡	主要地方道緒方高千穂線緊急地方道路整備事業	宮崎県総務部西臼杵支庁土木課
杵野第1遺跡	広域営農団地農道整備事業霧島北部2期地区	宮崎県農政水産部西諸県農林振興局

②発掘調査報告書刊行一覧

	巻 号	報告書名	サブタイトル	執筆者
1	発掘調査報告書 第65集	鴉尾遺跡 坂ノ下遺跡	農用地総合整備事業「都城区域」 農業用道路建設に伴う埋蔵文化財 発掘調査報告書(3)	福田 泰典
2	発掘調査報告書 第66集	右葛ヶ迫遺跡(第2次調査)	一般国道220号青島～日南改良 に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	田中 光
3	発掘調査報告書 第67集	教塚遺跡 栃屋遺跡 大郎遺跡	一般国道325号国道改築事業 (田原バイパス)に伴う埋蔵文化財 発掘調査報告書	甲斐 貴充 福田 泰典
4	発掘調査報告書 第68集	上日置城空堀跡	一般県道日置南高鍋線地方特定道 路整備事業(上日置工区)に伴う埋 蔵文化財発掘調査報告書	福田 泰典
5	発掘調査報告書 第69集	桑ノ木遺跡	串間警察署郡元職員宿舍新築工事 に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	杉田 康之
6	発掘調査報告書 第70集	八幡遺跡	都城裁判所合同庁舎建て替え工事 に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	永友 良典 南正覚雅士 堀田 孝博
7	発掘調査報告書 第71集	阿蘇原上遺跡	主要地方道緒方高千穂線(笹の都 工区)緊急地方道路整備事業に伴 う埋蔵文化財発掘調査報告書	甲斐 貴充 松本 茂
8	発掘調査報告書 第72集	瀬戸前1号横穴墓 瓜生野村古墳30号(横穴墓)	主要地方道宮崎西環状線道路改築 事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報 告書	吉本 正典 菅付 和樹 福田 泰典
9	発掘調査報告書 第73集	祇園原遺跡 春日地区遺跡第2地点	県道木城西都線1時間構想道路整 備事業(春日工区)に伴う埋蔵文化 財発掘調査報告書	柳田 宏一 加藤 学
10	発掘調査報告書 第74集	布平遺跡 古城遺跡	県営広域営農団地農道整備事業西 臼杵2期地区に伴う埋蔵文化財発 掘調査報告書	菅付和樹・谷口武 範・吉本正典・福 田泰典・日高広人 藤木 聡・丹 俊詞

	巻 号	報告書名	サブタイトル	執筆者
11	発掘調査報告書 第75集	五ヶ村遺跡 大野原遺跡	県営広域営農団地農道整備事業西 白杵3期地区に伴う埋蔵文化財発 掘調査報告書	甲斐 貴充 高橋 浩子 藤木 聡
12	発掘調査報告書 第76集	平成14年度東九州自動車道(都 農～西都間)関連埋蔵文化財発掘 調査概要報告書Ⅲ	銀座第1、銀座第2、銀座第3A・ B地点、前ノ田村上第一、湯牟田、 青木、野首第1、野首第2、老瀬坂 上、下耳切第3、唐木戸第1、唐木 戸第2、唐木戸第3、小並第1、牧 内第1、音明寺第2、東畦原第1、 東畦原第2、西畦原第1西畦原第 2、勘大寺、尾小原、向原第1、藤 山第1	吉本 正典 ほか

(4) 保存処理

保存処理室では、鉄製品や木製品を保存処理している。宮崎県は、地下式横穴墓から多量の鉄製品が良好な状態で出土するため、年次的に鉄製品保存処理関係機器を整備してきた。木製品については、PEG含浸装置等が未設置であるため、委託あるいはバキュームシーラーでのパッキング等で対応している。また、市町村教育委員会の依頼による備品の利用や保存処理の依頼についても受け入れている。

①保存処理・調査研究関係備品一覧

設置場所	機 器 名	製品名(規格)	製造会社名	購入年	備 考
鉄器 保存処理室	送風定温乾燥機	DN-61型	ヤマト科学	1983	漏電ブレーカー
	定温乾燥機	DN-94型	ヤマト科学	1992	
	鉄器樹脂含浸装置	300×1200		1983	
	精密噴射加工機			1983	
	精密噴射加工機	バリープラスト50N	トーフ技研	1992	
	小型グラインダー	ミニタースタンダード	関東機器	1993	
	軟X線装置	ソフテックス SPC-1501	ソフテックス	1991	TVシステム
	小型空気圧縮機		日立製作所	1983	
	ドラフトチャンバー	CSF-K15	島津理化	1992	

設置場所	機器名	製品名(規格)	製造会社名	購入年	備考
木器 保存処理室	脱塩洗浄処理装置		滝口製作所	1992	
一次処理室	超音波洗浄器	5200J4	シャープ	1991	
	卓上バキューム シーラー	SQ-202	サランラップ 販売	1991	SQトレン付
復元整理室	実体顕微鏡	SMZ-2T	ニコン	1991	写真撮影 装置付
写 場	赤外線TVカメラ	IRRS-100	浜松ホトニクス	1992	

(5) 収蔵整理

報告書作成が終了した遺跡の遺物、図面、写真などを適切に管理し一般に公開するため、収蔵整理を実施している。また、全国から寄贈された発掘調査報告書や購入図書、雑誌等についても台帳を作成し図書室に配置している。これらの資料類を関連づけて検索できるデータベースの構築が今後の課題となっている。

① 発掘調査資料

平成14年度までにセンターに収蔵した資料はコンテナ数で累計11,402箱となり、14年度分は9遺跡 887箱である。報告書作成が終了した遺跡から順次登録台帳を作成しているが、台帳の作成は遺物、遺物実測図、遺構実測図、写真、コンテナ番号、収蔵棚の項目を設けて各々に番号を付し、必要な時に検索できるようにしている。

平成14年度現在、台帳に登録した遺物は113遺跡、コンテナ数で累計3,278箱であり14年度分は1遺跡（次年度へ継続）115箱である。遺物実測図については次年度に継続の1遺跡、遺構実測図については3遺跡分の整理が終了した。遺物はコンテナ収蔵を基本とし、コンテナ外面に遺物登録番号、コンテナ番号、棚番号等を表示している。

○平成14年度収蔵整理実施遺跡

	遺跡名	所在地
1	竹ノ内遺跡	清武町

② 図書資料

全国から送られてくる発掘調査等の報告書や購入書籍・雑誌類を図書室に収蔵している。平成14年度は3,186冊の受け入れがあり、累計収蔵数は39,857冊になる。図書類はパソコンによるデータベース登録を実施している。

2 教育普及活動

センター展示部門では、神宮分館の展示コーナーにおいて常設展示及びコーナー展示を行っており、併せて遺物整理作業を見学できるようになっている。「コーナー展」は年2回展示替えし最新の発掘成果を速報的に展示し、毎月第4土曜日（12月は第3土曜日）には神宮分館研修室を中心に埋蔵文化財講座「遺跡をたずねて」を開催している。11月の文化財保護強調週間には県立文化施設5館合同みやぎ文化フェスティバルの事業として神宮分館で「施設公開」を実施した。

(1) 展示

① 常設展示

埋蔵文化財の保護と宮崎の歴史
文化財保護法と発掘調査の流れに関する解説

② コーナー展

展示テーマ	展示期間	展示内容
発掘調査速報展1 (宮崎市所在の「丘」の上の遺跡)	H14.4.19 ～ H14.10.20	枯木ヶ迫遺跡、柿迫・龍泉寺遺跡ほか
発掘調査速報展2 (佐土原町所在の「原」の上の遺跡)	H14.10.25 ～ H15.4.20	別府原遺跡、上ノ原遺跡、長蘭原遺跡ほか

(2) 埋蔵文化財講座「遺跡をたずねて」

毎月第4土曜日の午後1時30分から3時まで講座を実施している。講師は県内市町村専門職員、埋蔵文化財センター職員等がつとめ、平成14年度は「最近の発掘調査の成果から'02」という年間テーマのもと12回の講座を開講した。

	開催日	遺跡名(市町村名)	講師	受講者
1	H14. 4.27	枯木ヶ迫遺跡(宮崎市)	宮崎県埋蔵文化財センター 高橋 浩子	32名
2	H14. 5.25	迫内遺跡(宮崎市)	宮崎県埋蔵文化財センター 小山 博	17名
3	H14. 6.22	田ノ上遺跡(えびの市)	えびの市教育委員会 中野 和浩	25名
4	H14. 7.27	下那珂遺跡(佐土原町)	宮崎県埋蔵文化財センター 甲斐 貴充	20名
5	H14. 8.24	仲野原遺跡ほか(東郷町)	東郷町教育委員会 太川 裕晴	22名
6	H14. 9.28	講演と調査報告会	次頁参照	137名
7	H14.10.26	長蘭原遺跡ほか(佐土原町)	宮崎県埋蔵文化財センター 山田 洋一郎	16名
8	H14.11.23	高野原遺跡ほか(高岡町)	高岡町教育委員会 廣田 晶子	12名
9	H14.12.21	池島遺跡(都城市)	宮崎県埋蔵文化財センター 柳田 宏一	20名
10	H15. 1.25	八幡遺跡(都城市)	宮崎県埋蔵文化財センター 南正覚 雅士	11名
11	H15. 2.22	唐木戸第4遺跡(高鍋町)	宮崎県埋蔵文化財センター 永野 高行	42名
12	H15. 3.22	下耳切第3遺跡(高鍋町)	宮崎県埋蔵文化財センター 永田 和久	15名
			合計	369名

場所:神宮分館1階研修室(9月のみ県民文化ホール)

①講演と調査報告会

9月の講座は「講演と調査報告会」と題して28日に県総合博物館県民文化ホールにおいて開催した。

- ア 講演 演題「元寇防塁と日向国」 講師 柳田 純孝氏 (九州産業大学非常勤講師)
- イ 調査報告1 本野原遺跡 (田野町) ～縄文時代後期の集落～
発表者 金丸 武司氏 (田野町教育委員会)
- ウ 調査報告2 上ノ原第1遺跡 (宮崎市) ～古墳時代の集落と墓～
発表者 南正覚 雅士氏 (埋蔵文化財センター)
- エ 調査報告3 野首第2遺跡 ～縄文時代早期の集落～
発表者 尾園 賢二氏 (埋蔵文化財センター)



講演会のようす



調査報告のようす

(3) 施設公開

開催日	内 容	参加者数
H14.11.3～ H14.11.4	<ul style="list-style-type: none"> ・整制作業の実演 (土器片洗浄, 土器や石器の実測実演, ニシオグラフによる実測実演) ・実体顕微鏡で火山灰や土器に含まれている鉱物を見る ・赤外線TVで土器に書かれた文字を見る。 ・軟X線装置で錆に覆われた鉄器や鏡などを観察する ・体験作業 土器の模様を墨で紙に写し取る(拓本) 壊れた土器を復元する(復元) 押型文や貝殻文を復元する(施文) 粘土で土器を作る 石器で遊ぶ ・復元した土器の展示 ・平成13年度刊行の報告書の閲覧 ・ビデオ上映 「名探偵コナン 縄文体験やってみよう」ほか 	904名



施設公開のようす

(4) 埋蔵文化財専門職員研修会

埋蔵文化財センターでは、発掘調査技術等の向上をめざし、県及び市町村埋蔵文化財担当専門職員を対象とした研修を実施した。

内 容	場 所	日 程	参 加 者 数
埋蔵文化財担当職員研修会 ・「近年の報告書の現状と課題」 ・「報告書の検討」 ・「報告書作成の知識」 ・「学校教育に於ける埋蔵文化財の活用」	宮崎県立図書館 研修ホール	H14.7.19	市町村担当 34名 センター職員 66名
埋蔵文化財担当職員研修会 ・「埋蔵文化財写真撮影」 ・「石器石材の基礎知識」	宮崎県 埋蔵文化財センター本館	H15.2.14	市町村担当 22名 センター職員 15名

(5) 現地説明会

平成14年度は説明会を19現場で実施した。

	遺 跡 名	所在地	期 日	参加者数	対象範囲	事業内容
1	東畦原第1遺跡	新富町	H14. 5.11 (土)	175名	県下全域	東九州自動車道
2	向原第1遺跡	新富町	H14. 5.17 (金)	74名	地域住民	東九州自動車道
3	湯牟田遺跡	川南町	H14. 5.26 (日)	106名	県下全域	東九州自動車道
4	前ノ田村上第1遺跡	川南町	H14. 5.26 (日)	138名	県下全域	東九州自動車道
5	唐木戸第3遺跡	高鍋町	H14. 5.29 (水)	94名	地域住民	東九州自動車道
6	上ノ原第1遺跡	宮崎市	H14. 6.16 (日)	105名	地域住民	県道整備事業
7	山口遺跡	延岡市	H14. 7.13 (土)	65名	延岡市内	延岡北方道路建設
8	唐木戸第1遺跡	高鍋町	H14. 8. 9 (金)	25名	地域住民	東九州自動車道
9	竹淵C遺跡	新富町	H14. 9. 7 (土)	92名	地域住民	一ッ瀬川河川改良
10	小並第1遺跡	高鍋町	H14. 9.14 (土)	213名	県下全域	東九州自動車道
11	西畦原第1遺跡 (第二次調査)	新富町	H14.10.12(土)	66名	地域住民	東九州自動車道
12	前ノ田村上 第1遺跡	川南町	H14.10.27(日)	83名	県下全域	東九州自動車道
13	牧内第1遺跡	高鍋町	H14.10.29(火)	119名	地域住民	東九州自動車道
14	唐木戸第2遺跡	高鍋町	H14.11. 6 (水)	59名	地域住民	東九州自動車道
15	音明寺第2遺跡 (第二次調査)	新富町	H14.11. 7 (木)	82名	地域住民	東九州自動車道

	遺跡名	所在地	期 日	参加者数	対象範囲	事業内容
16	東畦原第1遺跡 (第二次調査)	新富町	H14.11.7(木)	82名	地域住民	東九州自動車道
17	銀座1(一・二次調査) 2遺跡	川南町	H15.2.1(土)	65名	地域住民	東九州自動車道
18	山田遺跡	延岡市	H15.3.4(火)	118名	地域住民 小中学校	延岡北方道路建設
19	調査報告会 (勘大寺・東畦原第2・ 西畦原第2遺跡)	新富町	H15.3.15(土)	116名	県下全域	東九州自動車道
計1,877名						

(6) 広報出版物

埋蔵文化財保護啓発活動の一環として埋蔵文化財センターの「事業案内」の発行や埋蔵文化財講座、施設公開等のポスターやパンフレットを作成した。

	刊 行 物 名	発行年月
1	宮崎県埋蔵文化財センター年報 第6号	H14.5
2	平成14年度埋蔵文化財講座第4回「講座と調査報告会」 チラシ及びポスター	H14.9
3	平成15年度宮崎県埋蔵文化財センター「事業案内」	H15.3

(7) 資料等の提供

埋蔵文化財センターでは、一般や公共機関、研究機関、研究者の利用希望に応じて、可能な限り資料を提供している。資料提供には館内利用（資料の閲覧・実測等）と館外貸出及び掲載許可があり、平成14年度には館内利用が26件、館外貸出が8件、掲載許可が5件であった。

①館内利用

資 料 名	利 用 者	利 用 目 的	利用日
八幡遺跡出土近世陶磁器	鹿児島県陶磁器研究会	資料閲覧	H14.6.28～ H14.6.30
西畦原第2、東畦原第3、牧内第2遺跡 出土旧石器時代遺物	東京大学大学院生 阿部 敬	修士論文作成	H14.8.6
平畑、学頭遺跡出土縄文土器	長崎県南串山町教育委員会 遠部 慎 佐賀県教育庁文化課 大坪 芳典	資料収集	H14.8.10
桃木畑地下式横穴墓出土鉄製品	福岡県教育委員会 秦 憲二	資料収集	H14.8.20

資料名	利用者	利用目的	利用日
宮崎県内古墳時代文献	明治大学学生 横山雅美	卒業論文作成	H14.8.22~ H14.8.23
六野原地下式横穴墓出土鉄製品	熊本大学学生 西嶋剛広	卒業論文作成	H14.8.23
寺崎遺跡出土遺物	立正大学教授 坂詰秀一	資料収集	H14.8.27
別府原、矢野原、赤木遺跡検出旧石器時代遺構図面	九州大学学生 山根謙二	卒業論文作成	H14.9.4~ H14.9.5
妙見、白ヶ野遺跡出土縄文時代遺物	奈良大学学生 井上一成	卒業論文作成	H14.9.9
長籬原、堂地西、木脇、矢野原、蔵田遺跡出土旧石器時代遺物	明治大学考古学博物館 島田和高	特別展用借用希望資料選定のための資料閲覧	H14.9.11
内屋敷遺跡出土縄文時代遺物	高岡町教育委員会 廣田晶子	資料収集	H14.9.17
弥生時代遺物	名古屋大学学生 米津沙斗子	卒業論文作成	H14.11.11
木脇、上籬遺跡出土古墳時代遺物	愛媛大学大学院生 竹崎真良那	修士論文作成	H14.11.11
牧内第1、西畦原第2遺跡出土旧石器時代遺物	東京大学大学院生 阿部敬	修士論文作成	H14.11.14~ H14.11.15
松本塚古墳、西都原171号墳出土埴輪	熊本大学大学院生 竹中克繁	修士論文作成	H14.11.15
清武町、田野町、日向市、串間市、都城市、日南市遺跡詳細分布調査報告書	宮崎大学学生 斉藤優子	卒業論文作成	H14.12.2~ H14.12.6
熊野原、前原北遺跡出土弥生時代遺物	愛媛大学教授 下條信行	文部科学省研究「西南四国-九州間の交流に関する考古学的研究」のための資料収集	H14.12.25
堂地西遺跡出土遺物	立命館大学大学院生 村上昇	資料収集	H14.12.25
宮崎県内横穴墓関連報告書	明治大学学生 加藤直樹	卒業論文作成	H14.12.26~ H14.12.27

資料名	利用者	利用目的	利用日
打扇、矢野原遺跡出土黒曜石製遺物及び竹ノ内遺跡出土岩偶	大分県立歴史博物館 宮内 克己	資料収集	H15.1.30
竹ノ内、上ノ原、木脇、塚原、妙見、阿蘇原上遺跡出土縄文時代遺物及び上ノ原、長籬原、阿蘇原上遺跡出土旧石器時代遺物	財団法人 高知県埋蔵文化財センター 前田 光雄 松村 信博	資料収集	H15.2.21
上籬F地区、上ノ原第3遺跡出土古墳時代遺物	大野城市教育委員会 舟山 良一	調査研究	H15.3.14
西都原171号墳出土埴輪	岡山大学埋蔵文化財センター 野崎 貴博	資料収集	H15.3.22
西都原171号墳出土埴輪	筑波大学教授 川西 宏幸	資料収集	H15.3.22
持田中尾、志戸平遺跡出土弥生時代遺物	筑波大学大学院生 齋藤 瑞穂	資料収集	H15.3.22

②館外貸出

貸出資料名	数量	目的	期間	貸出機関名
下屋敷遺跡出土遺物 ナイフ形石器 三稜尖頭器 石鏃 石斧他	138 点	○平成14年度初任者研修社会科部会の講義・演習用資料	H14.6.28	宮崎県教育研修センター
		○平成14年度ニース研修・教科講座「中学校社会」の講義・演習用資料	H14.7.24 ～	
		○平成14年度公立中学校教職経験15年経過研修の講義・演習用資料	H14.8.2	
		○平成14年度中学校ライフステージ3年目研修の講義・演習用資料		
		○平成14年度小学校ライフステージ3年目研修の講義・演習用資料	H14.8.21 ～	
		○平成14年度公立小学校教職経験15年経過研修の講義・演習用資料	H14.8.28	
		○平成14年度特別研修(第二期)における選択研修の講義・演習用資料	H14.9.24 ～ H14.9.25	
○平成14年度中学校ライフ8年目研修及び中学校初任者研修の講義・演習用資料	H14.10.7 ～ H14.10.11			
○平成14年度小学校ライフ8年目研修の講義・演習用資料	H14.10.25 ～ H14.10.29			

貸出資料名	数量	目的	期間	貸出機関名	
堂地西 妙見 天神河内第1 竹ノ内 持田 学頭 上の原第1 土器田 小山尻東 余り田 遺跡他出土	ナイフ形石器 細石刃 深鉢 スクレイパー 高坏 石庖丁 鉄鍬 提瓶 緑釉埴 墨書土器	188点	宮崎公立大学集中講義用資料	H14.7.29 ～ H14.8.2	北郷 泰道
寺崎 大島島田 余り田 遺跡他出土 他	墨書土器 硯 線刻土器	44点	平成14年度特別展「古代日本文字ある風景—金印から正倉院文書まで—」に出陳	H14.10.8 ～ H14.12.13	宮崎県総合博物館
余り田遺跡出土	墨書土器	9点	第9回時遊館COCCOはしむれ企画展『薩摩の「隼人」と律令制度』に出陳	H14.12.17 ～ H15.2.3	指宿市考古博物館 時遊館COCCOはしむれ
白ヶ野 竹ノ内遺跡出土	縄文土器	3点	みやざき歴史文化館地区点「清武の歴史と文化財」に出陳	H15.1.30 ～ H15.3.12	みやざき歴史文化館
町屋敷遺跡出土	堀跡のスライド写真	1冊	考古博物館模型製作の参考	H15.1.31 ～ H15.2.14	宮崎県文化課
平畑 熊野原 天神河内 遺跡他出土	縄文土器 土師器(高坏) 滑石製石鍋 他	8点	宮崎市立大宮小学校家庭教育学級「食生活と調理法の変遷」講義用資料	H15.2.17 ～ H15.2.20	宮崎市立大宮小学校
楠木原遺跡出土	瓦(「久嶋」等の刻印入り他)	22点	飫肥城歴史資料館改修に伴う展示用パネル作成	H15.3.14 ～ H15.3.20	日南市教育委員会

③刊行物掲載(写真提供)

資料名	掲載刊行物	依頼者	申請日
下耳切第3遺跡出土 遺構・遺物	「文化財発掘出土情報」 2002年8月号	株式会社ジャパン通信 情報センター	H14. 6.24
上の原第1遺跡他出土 土器埋納遺構土器一括	『考古資料大観 第2巻 弥生・古墳 時代 土器II』	株式会社小学館	H14. 7. 1
八児遺跡出土 石鍋	『これならわかる沖縄の歴史Q&A』	株式会社大月書店	H14.11.11

資 料 名	掲 載 刊 行 物	依 頼 者	申 請 日
前田遺跡・町屋敷遺跡出土 大足・扉・根太	『考古資料大観 第8巻 弥生・古墳 時代 木・繊維製品』	株式会社小学館	H14.12.13
塚原遺跡出土 赤彩土器	「先史日本を復元する3」 『縄文のマツリと暮らし』	株式会社岩波書店	H14.12.13

(8) 研修・体験学習等の受入れ

埋蔵文化財センターや発掘調査現場の見学、研修、体験学習を取り入れる学校や教育機関等が増加している。平成14年度は分館見学、発掘調査現場見学・発掘体験学習、職場体験学習、ニーズ研修が実施され、児童・生徒や学生及び教職員等をはじめ広く県民を受け入れた。

①見学・研修・体験学習

内 容	場 所	依 頼 者	実施日	参加者数
分館見学	埋蔵文化財センター分館	国富デイサービス	H14.5.9	11名
分館見学	埋蔵文化財センター分館	鹿児島県松元町立石谷小学校	H14.5.16	55名
向原第1遺跡見学	向原第1遺跡発掘調査現場	新富町立上新田中学校	H14.5.16	55名
分館見学	埋蔵文化財センター分館	鹿児島県西原台小学校	H14.5.22	22名
分館見学	埋蔵文化財センター分館	国富デイサービス	H14.5.22	11名
分館見学	埋蔵文化財センター分館	川南町立通山小学校	H14.5.23	44名
分館見学	埋蔵文化財センター分館	阿波岐原通所センター	H14.5.29	15名
職場体験学習	山口遺跡発掘調査現場	延岡市立南方中学校	H14.5.29	4名
職場体験学習	下耳切第3遺跡発掘調査現場	宮崎県立宮崎養護学校	H14.6.3～ H14.6.7	1名
山口遺跡発掘体験学習	山口遺跡発掘調査現場	延岡市立南方小学校	H14.6.27	26名
施設見学	埋蔵文化財センター本館	宮崎大学教授 柳沢一男 他10名	H14.6.29	11名
ニーズ研修(中学校社会)	埋蔵文化財センター本館	宮崎県教育研修センター	H14.7.26	30名
職場体験学習	竹淵C遺跡発掘調査現場	宮崎県立宮崎南高等学校	H14.8.6	8名
分館見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎市立櫛北小学校児童クラブ	H14.8.8	34名
分館見学	埋蔵文化財センター分館	天理大学	H14.9.8	20名
分館見学	埋蔵文化財センター分館	小戸地区老人クラブ	H14.9.19	55名

内 容	場 所	依 頼 者	実施日	参加者数
分館見学	埋蔵文化財センター分館	移動県民学校(穆小学校PTA)	H14.10.8	25名
分館見学	埋蔵文化財センター分館	延岡市立方財小学校	H14.10.10	18名
東畦原第1遺跡見学・発掘体験	東畦原第1遺跡	新富町立上新田中学校	H14.11.7	46名
分館見学	埋蔵文化財センター分館	愛媛大学	H14.11.8	27名
分館見学	埋蔵文化財センター分館	南郷町立南郷小学校	H14.11.14	93名
遺跡発掘体験学習	野首第1遺跡	高鍋町立高鍋西小学校	H14.11.15	25名
発掘現場見学	勘大寺遺跡	新富町サタデーサイエンスクラブ	H14.11.16	80名
発掘現場見学	東畦原第1遺跡、小並第1遺跡	朝鮮大学、熊本大学	H14.11.20	2名

②視察・資料調査等

来 館 者	来館日	目 的
明治大学考古学博物館 学芸員 島田 和高	H14.9.11	旧石器時代遺跡調査成果について
大分県立歴史博物館 主幹研究員 宮内 克己	H15.1.30	打扇遺跡・矢野原遺跡出土の姫島産黒曜石調査
長崎県教育庁学芸文化課 文化財指導監 田川 肇外	H15.1.30	埋蔵文化財センター施設内容と観光資源としての位置付け等について
高知県埋蔵文化財センター 班長 前田 光雄 専門調査員 松村 信博	H15.2.21	九州系縄文土器調査及び宮崎県下の遺跡の様相について
鹿児島県立埋蔵文化財センター 文化財研究員 有馬 孝一 文化財研究員 真鍋雄一郎 文化財研究員 馬籠 亮道	H15.3.11	旧石器及び縄文中期の調査成果について

(9) 会議・職員研修

独立行政法人奈良文化財研究所で実施している発掘技術者研修や、全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会主催の各種会議等に職員を派遣し、職員の資質向上と業務の円滑な推進を図っている。

内 容	日 程	開 催 地	出 席 者
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会総会	H14.5.23～ H14.5.24	埼玉県さいたま市	米良 弘康 永友 良典
県地方史研究連絡協議会総会	H14.7.18	宮崎市	児玉 章則

内 容	日 程	開 催 地	出 席 者
文化庁埋文担当職員講習会	H14.9.19～ H14.9.20	大阪府大阪市	甲斐 貴充 日高 広人
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会 中国・四国・九州ブロック会議	H14.9.25～ H14.9.27	山口県萩市	岩永 哲夫 藤木 聡
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会研修会	H14.10.23～ H14.10.26	秋田県鹿角市	大藪 和博 大村 公美恵 福田 泰典
平成14年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修 「文化財写真課程」	H14.8.20～ H14.9.20	奈良県奈良市	今塩屋 毅行

(10) 職員派遣

市町村の教育委員会に埋蔵文化財の専門的、技術的な指導を行ったほか、諸機関・団体主催講演会等の普及啓発行事に職員を派遣している。

① 調査指導等(派遣)

内 容	派遣期日	依 頼 者	派遣職員
肱畔遺跡発掘調査指導	H14.5.1	高岡町教育委員会	福田 泰典
高鍋町中央公民館事業「歴史講座」講師	H14.7.11	高鍋町教育委員会	今塩屋毅行
考古学講座「九州・沖縄発掘最前線.5－宮崎県・大島島田遺跡ほか」講師	H14.10.19	福岡市教育委員会	岩永 哲夫
門川町郷土史講座講師	H14.10.24	門川町教育委員会	吉本 正典
平成14年度 総合博物館講座 「何がでるかな？遺跡発掘体験」現場作業体験指導	H14.10.27	県総合博物館	長津 宗重 松本 茂
延岡市学校教育研修所 総合的な学習の時間部会	H14.11.8	延岡市学校教育研修所	玉利 勇二
梶山城跡地形測量に伴う調査指導	H15.1.22	三股町教育委員会	福田 泰典
北方町上崎地区遺跡発掘調査指導	H15.3.5	北方町教育委員会	岩永 哲夫

(11) 研究参加

内 容	参加期日	依 頼 者	参加職員
宮崎の教育創造プラン策定に係る重点課題プロジェクトチーム会議 「ひむか学」開発・編纂事業	H14.5.21 H14.6.3 H14.7.11 H14.8.7 H14.12.22	宮崎県教育庁 教育企画室	吉本 正典

内 容	参加期日	依 頼 者	参加職員
「考古学資料の情報集成的研究」 「経塚」関係データ収集及び調査カード作成	H14.4.1～ H15.3.31	国立歴史民俗博物館	甲斐 貴充

(12) 労働安全衛生関係の講習等への参加

発掘調査現場及びセンター内での安全衛生向上を図るため、各講習会に職員を派遣している。

	内 容	参加期日	参加者
1	労働災害防止研修会	H14.5.14	岩永 哲夫 谷口 武範
2	安全衛生推進者養成講習	H14.5.21～ H14.22	松田 清孝 今塩屋 毅行 加藤 学
3	地山の掘削・土止め支保工作業主任者技能講習会	H14.7.3～ H14.7.5	日高 広人 甲斐 貴充
4	普通救命講習会	H14.7.22 H14.7.29	調査第一・二課職員
5	安全衛生管理研修会	H14.9.6	菅付 和樹
6	有機溶剤作業主任者技能講習会	H14.10.2～ H14.10.3	大村 公美恵 赤崎 広志

IV 宮崎県埋蔵文化財センター管理規則

(平成8. 3. 29 教育委員会規則第5号)

最終改正 平成12. 3. 教育委員会規則第8号

(趣 旨)

第1条 この規則は別に定めるもののほか、宮崎県埋蔵文化財センター及び宮崎県埋蔵文化財センター分館（以下「埋蔵文化財センター」という。）の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(事 業)

第2条 埋蔵文化財センターは、次に掲げる事業を行う。

1. 埋蔵文化財の調査研究に関すること。
2. 出土品その他の資料の保存及び活用に関すること。
3. 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備に関すること。
4. 埋蔵文化財関係者の専門的、技術的な研修及び指導に関すること。
5. 埋蔵文化財保護思想の普及及び啓発に関すること。
6. その他埋蔵文化財保護に必要な事業に関すること。

(組 織)

第3条 埋蔵文化財センターに、次の表の左欄に掲げる課を置き、課にそれぞれ同表の右欄に掲げる係を置く

課	係
総 務 課	総務係
調 査 第 一 課	調査第一係 調査第二係
調 査 第 二 課	調査第三係 調査第四係
普 及 資 料 課	普及資料係

(分掌事務)

第4条 前条に規定する各課の分掌事務は、次のとおりとする。

総 務 課

1. 職員の人事、給与及び服務に関すること。
2. 予算の執行及び決算に関すること。
3. 文書の取受、発送及び保存に関すること。
4. 公印の管守に関すること。
5. 施設及び設備の管理に関すること。
6. その他他の課の所管に属さない事項に関すること。

調査第一課

1. 東九州自動車道建設に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
2. 前号の発掘調査に係る出土品その他の資料の整理に関すること。
3. 第1号の発掘調査に係る発掘調査報告書の作成等に関すること。

調査第二課

1. 国、県関係事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
2. 前号の発掘調査に係る出土品その他の資料の整理に関すること。
3. 第1号の発掘調査に係る発掘調査報告書の作成等に関すること。

普及資料課

1. 出土品の保存処理、修復、保存管理及び活用に関すること。
2. 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備に関すること。
3. 出土品その他の資料及び埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料（以下「資料等」という。）の貸し出しに関すること。
4. 埋蔵文化財関係者に対する専門的、技術的な研修及び指導に関すること。

(職及び職務)

第5条 埋蔵文化財センターに次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は同表右欄に掲げるとおりとする。

職	職 務
所 長	所務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
副 所 長 (二人)	所長を補佐し、所長に事故があるとき、又は所長が欠けたときは、その職務を代行する。
課 長	上司の命を受けて、課の事務を処理する。
係 長	上司の命を受けて、係の事務を処理する。
主任主事	上司の命を受けて、複雑な事務に従事する。
主 事	上司の命を受けて、事務に従事する。

2. 前項に規定する副所長の職務の担当区分は、1人を統括とし、他を業務担当とする。
3. 第一項の規定により副所長が所長の職務を代行する順序は次の通りとする。
 - 第一順位 統括の副所長
 - 第二順位 業務担当の副所長
4. 第一項に規定する職のほか、埋蔵文化財センターに必要な応じ、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職	務
副 参 事	上司の命を受けて、埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。	
主 幹	上司の命を受けて、埋蔵文化財センターの特定の事務を処理する。	
主 任	上司の命を受けて、専門的業務を処理する。	
主 査	上司の命を受けて、専門的業務に従事する。	

(その他の職)

- 第6条 前条に規定する職のほか、埋蔵文化財センターに必要な応じ、その他の職員の職として技術員を置く。
- 2 技術員は、上司の命を受けて、技能又は労務に従事する。

(開館時間等)

- 第7条 埋蔵文化財センターの開館時間は、午前9時から午後5時までとする。
- 2 埋蔵文化財センターの入館時間は、午前9時から午後4時30分までとする。

(休 館 日)

- 第8条 埋蔵文化財センターの休館日は、次のとおりとする。

区 分	休 館 日
宮崎県埋蔵文化財センター	<ol style="list-style-type: none"> 1. 土曜日及び日曜日 2. 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。） 3. 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで（休日を除く。） 4. 特別整理期間（あらかじめ所長が定めて公示する期間をいう。以下同じ。）
宮崎県埋蔵文化財センター分館	<ol style="list-style-type: none"> 1. 月曜日（休日にあたるときを除く。） 2. 休日の翌日（土曜日・日曜日又は休日に当たるときを除く。） 3. 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで 4. 特別整理期間

- 2 所長は、必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に同項各号に掲げる日に開館し、又は同項各号に掲げる日以外の日に休館することができる。

(入館の制限等)

- 第9条 所長は、埋蔵文化財センターを利用しようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、その入館を制限し、若しくは退館を命じ、又はその利用を中止させることができる。
1. 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
 2. 施設、設備、備品等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
 3. 所長が指定する場所以外において喫煙又は飲食をしたとき。
 4. 条例若しくは規則又は所長の指示に従わないとき。
 5. 前各号に掲げる場合のほか、埋蔵文化財センターの管理運営上支障があると認められるとき。

(資料等の館内利用)

- 第10条 館内において資料等を利用しようとする者は、資料等館内利用承認申請書（別記様式第1号）を所長に提出して、所長の承認を受けなければならない。

(資料等の館外貸出し)

- 第11条 次に掲げるものは、資料等の館外貸出しを受けることができる。
1. 国立の博物館、博物館法（昭和26年法律第285号）第2条第1項に規定する博物館及び同法第29条の規定により文部大臣又は宮崎県教育委員会が博物館に相当する施設として指定したもの
 2. 社会教育法（昭和24年法律第207号）第21条に規定する公民館
 3. 学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する学校
 4. 国又は地方公共団体の設置する教育又は文化に関する調査研究機関
 5. 市町村立の歴史民族資料館等で宮崎県教育委員会教育長（以下「教育長」という。）が定めるもの。
 6. その他教育長が適当と認めるもの
- 2 資料等の館外貸出しの期間は、30日以内とする。ただし、所長が特に必要があると認めるときは、これを延長し、又は貸出しの期間中であっても、当該資料等の返還を求めることができる。
 - 3 資料等の館外貸出しを受けようとする者は、資料等館外貸出承認申請書（別記様式第2号）を所長に提出し、所長の承認

を受けなければならない。

4. 所長は、出土品その他の資料について前項の承認をしようとするときは、次の事項を確認しなければならない。

1. 貸出しを受ける目的が当該出土品その他の資料の保存及び活用にとって適切であること。
2. 当該出土品その他の資料の保管、展示等を適切に行うための施設及び設備が整備されていること。
3. 貸出しの期間中当該出土品その他の資料が適切な知識、技能を持つ者に取り扱われること。

(弁 償)

第12条 入館者、館内利用者又は資料等の館外貸出しを受けた者は、資料等、設備又は備品を亡失し、破損し、又は汚損したときは、所長の指示に従い、その修理又は損害の賠償をしなければならない。

(委 任)

第13条 この規則に定めるもののほか、埋蔵文化財センターの運営管理に関し必要な事項は、別に定める。

附 則 (抄)

(施行期日)

1. この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則 (平成12. 3. 31 教育委員会規則第8号)

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

別記

様式第1号 (第10条関係)

資料等館内利用承認申請書

年 月 日

宮崎県埋蔵文化財センター所長 殿

住 所
申請者 氏 名
電話番号

(法人にあつては主たる事務所の所在地、
名称及び電話番号並びに代表者の氏名)

資料等の館内利用をしたいので、宮崎県埋蔵文化財センター管理規則第10条の規定により、次のとおり申請します。

館内利用の目的			
資料等の名称	形 状	数 量	備 考

資料等館外貸出承認申請書

年 月 日

宮崎県埋蔵文化財センター所長 殿

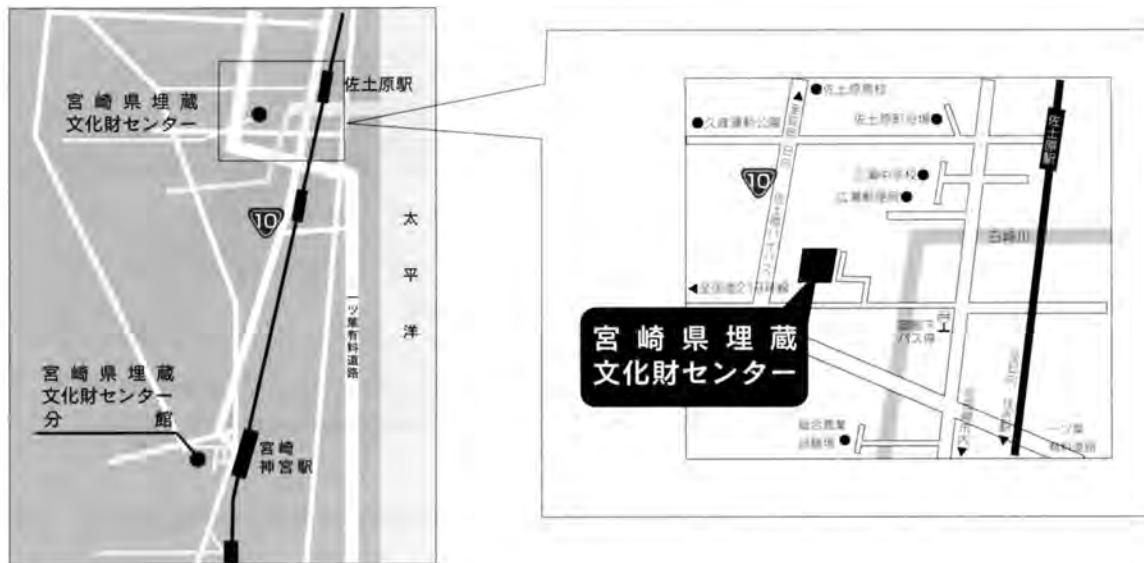
住 所
申請者 氏 名
電話番号

(法人にあつては主たる事務所の所在地、
名称及び電話番号並びに代表者の氏名)

資料等の館外貸出しを受けたいので、宮崎県埋蔵文化財センター管理規則第11条第3項の規定により、次
おり申請します。

館外貸出の目的			
資料等の名称	形 状	数 量	備 考
館外貸出期間	年 月 日から 年 月 日まで		

(案 内 図)



宮崎県埋蔵文化財センター

〒880-0212 宮崎郡佐土原町大字下那珂4019番地
 Tel.0985-36-1171・36-1172 Fax.0985-72-0660
 E-mail:m-maibun@galaxy.ocn.ne.jp
 ◎佐土原駅 (JR) 車10分 ◎御殿下バス停徒歩8分

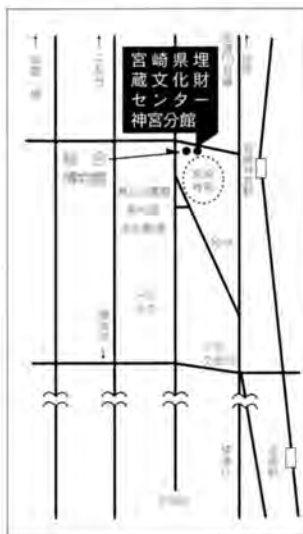
宮崎県埋蔵文化財センター神宮分館

宮崎市神宮2丁目4-4 (〒880-0053)
 TEL0985-21-1600
 FAX0985-26-2634

- 宮崎神宮駅 (JR) 一徒歩10分
- 宮崎神宮行きバス-神宮終点下車徒歩10分
- 綾・国富・平和が丘行きバス-「博物館前」下車徒歩2分

位置

- 観覧時間
午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)
- 休館日
毎週月曜日 国民の祝日の翌日 年末年始 (12月28日～1月4日)
- 入館料 無料



宮崎県埋蔵文化財センター年報第7号
平成15年度（2003）

編集・発行：宮崎県埋蔵文化財センター
880-0212
宮崎郡佐土原町大字下那珂4019
発行月：平成15年6月
印刷：小柳印刷株式会社
宮崎市旭1丁目6-25

宮崎県埋蔵文化財センター

〒880-0212 宮崎郡佐土原町大字下那珂4019番地
Tel.0985-36-1171・36-1172 Fax0985-72-0660
◎佐土原駅（JR）車10分 ◎御殿下バス停徒歩8分